

# 竹ノ内博明ピアノリサイタル

「喪失と回帰」

Hiroaki Takenouchi Piano Recital  
Lost and Recurrence

プログラムは変更する場合がございます。ご了承ください。 *Program is subject to change.*

**Paul Dukas** 牧神の遠い嘆き  
ポール・デュカス *La plainte, au loin, du faune...*

**Olivier Messiaen** ポール・デュカスの墓に捧げる曲  
オリヴィエ・メシアン *Pièce pour le Tombeau de Paul Dukas*

**Jonathan Harvey** メシアンの墓 [ピアノとテープ] (1992)  
ジョナサン・ハーヴェイ *Tombeau de Messiaen (piano and tape) (1992)*

**Toru Takemitsu** 雨の樹素描 II  
武満徹 *—オリヴィエ・メシアンの追憶に— (1992)*  
*Rain Tree Sketch II In memoriam Olivier Messiaen*

**Ichiro Nodaira** イン・メモリアム・T (インターリュード II) (1998)  
野平一郎 *In memoriam T (Interlude II)*

**Edvard Grieg** バラード ト短調 Op.24  
エドヴァルド・グリーグ *Ballade Op.24*

**Dei Fujikura** ロスト・シャドウズ (2000)  
藤倉大 *Lost Shadows*

**Jonathan Harvey** イェーツによる四つの映像 (1969)  
ジョナサン・ハーヴェイ *Four Images after Yeats*

**Alexei Stanitchinsky** ソナタ ト長調  
アレクセイ・スタンチンスキー *Sonata in G*

会場 TWS 渋谷  
日時 2007年11月26日(月)  
開演 19:00(18:30 開場)  
入場料 一般 2,000円 学生券 1,600円  
※当日受付にて、学生証をご提示ください。(全席自由/予約制/当日精算)  
チケット申込み お名前、連絡先、申込人数、申込希望イベントを明記のうえ、  
FAX(03-5689-7501)、ホームページお問い合わせフォーム (<http://www.tokyo-ws.org/contact/index.html>) からお申し込み下さい。

主催 財団法人東京都歴史文化財団 トーキョーワンダーサイト  
出演 竹ノ内博明 (ピアニスト)

Venue TWS Shibuya  
Concert November 26 (Mon.) 19:00 (Door Open:18:30)  
Booking FAX(03-5689-7501) or Email from contact page  
(<http://www.tokyo-ws.org/contact/index.html>)  
Ticket Price:2,000Yen / Student: 1,600Yen  
※Please present your student ID at the reception desk.  
Free Seating/Booking/Payment at the gate

Organize Tokyo Metropolitan Foundation for History and Culture,  
Tokyo Wonder Site  
Performer: Hiroaki Takenouchi (Pianist)

若手音楽家支援プログラムは、トーキョーワンダーサイトが2004年から実施している若く才能豊かな音楽家の発掘と育成を目的とした支援プログラムです。現代の音楽を総合的に学ぶことのできるアカデミーの開催や国内外の演奏家、作曲家から学ぶワークショップ、レクチャー、新しい世代の音楽家を発掘し育成する音楽企画公募など多岐にわたってプログラムを実施しています。

Hiroaki Takenouchi Piano Recital

# 竹ノ内博明ピアノリサイタル

## 「喪失と回帰」

2006年度トーキョーワンダーサイト若手音楽家支援プログラム〈音楽企画公募〉に入選、本年1月の企画実施公演において、比類ない実力と表現力で聴衆を驚嘆させたピアニスト竹ノ内博明氏。

次なるステップとして、トーキョーワンダーサイト渋谷にて、竹ノ内氏のリサイタル公演を開催いたします。

竹ノ内博明 (ピアニスト)

Hiroaki Takenouchi (Pianist)



1997年よりロンドン在住。英国王立音楽大学にて研鑽を積み、これまでにピアノを市来貴子、牧野純、ヨンティ・ソロモン、アンドリュース・ポール、フランク・ウィバウト、ノレック・コンテ他各氏に、フォルテピアノをデービッド・ウォード、作曲をエドウィン・ロックスバラの各氏に師事、またピエール・ローラン・エマール、エマニュエル・アックス、ロナルド・ブラウティガム、イモージェン・クーバー、ヘルムート・ラッペンマン、エリザベート・レオンスカヤ、ロバート・レヴィン、サー・ロジャー・ノリントンなどの音楽家たちにも芸術的指導と助言を受ける。ロンドンのサウスバンクセンター、フェアフィールドホール、ハンブルグ・ムジークハレ、トーキョーワンダーサイト、東京、ロンドン、ハンブルクの各スタインウェイホールなどを始め、これまでにイギリス、日本、ドイツ、フランス、オーストリア、イタリアなど各地で演奏を行う。

2005年には、英国王立音楽大学最高の栄誉であるエリザベス皇太后賞杯を受賞、チャールズ皇太子殿下より授与される。また2004年にはザルツブルクのモーツァルトウム夏期アカデミーに参加し、そこでの演奏が認められザルツブルク音楽祭の一場のコンサートに出演。同年にはサウスバンクセンターでのデビュー、またチュルトナム国際音楽祭でのデビューリサイタルも行う。2006年にはキーボードトラスト(ロンドン)などの援助を受け、イタリア、ドイツ各地でリサイタルを行った。2007年には、モーツァルトウム(オーストリア)及びフズムピアノフェスティバル(ドイツ/日本人初)にてリサイタルを行い好評を得る。これまでに数多くの録音を行い、作曲家や他の演奏家からの信頼も厚い。これまでにジェレミー・デイル・ロバーツの *Oggetti Omaggio a Morandi* (LORELT) や、エドウィン・ロックスバラの *Six Etudes* (NMC) の世界初録音を行い、また2006年にはブリティッシュ・ライブラリーのモーツァルト自筆作品カタログの音源化にフォルテピアノ奏者として携わる。2007年には、「日本現代ピアノ作品集」と題したCD(ソロ: LORELT)と、ジェームズ・ディロンの *Black/Nebulae* (河合祝子氏との二台ピアノ: NMC) の録音を行った(07年末から08年頃にかけ発売予定)。現在ソロ活動の他室内楽奏者、伴奏者としても活動している。2007年9月より英国王立音楽大学の研究員。

「自らの演奏する音楽の様式の完全な把握と、演奏における類い稀な繊細さ及び華やかさを併せ持った何ともしばらしいピアニスト」

指揮者 サー・ロジャー・ノリントン

「竹ノ内はまさに、新しい中でも特に新しい音楽の必要としている類の名奏者である、またぜひ喜んで聞きに行きたい」

ザ・タイムズ(ロンドン)

「最初にトーキョーワンダーサイトに送られてきたテープを聴いたとき、竹ノ内博明のピアノの切っ先の鋭さに感嘆すると同時に、その背後に淡い影のように張り付いた詩情に完全に魅了されてしまった。現代曲を目の覚めるような技術でさばきながらも、どこかもの悲しく、儚い音がするのだ。果たして、2007年1月、本郷で行なわれたリサイタルは、予想を超えた素晴らしいものになった。彼が大成するのかどうか、私には分からない。しかし、若くしてこれほどに高い技術で、これほどに寂しくも美しいピアノを弾く人を他にしらない。この秋、今度は渋谷で、さらに凝ったプログラムの演奏会が行なわれる。ピアノ音楽に興味のある人ならば、これを聴きのがす手はないだろう」

音楽学者 沼野雄司氏

# TWS shibuya

トーキョーワンダーサイト渋谷

〒150-0041 東京都渋谷区神南 1-19-8  
1-19-8 Jinnan Shibuya-ku Tokyo Japan 150-0041  
TEL: 03-3463-0603  
FAX: 03-3463-0605  
Email: contact@tokyo-ws.org  
URL: <http://www.tokyo-ws.org>  
渋谷駅(JR 山手・埼京線・湘南新宿ライン/東急 東横・田園都市線/京王井の頭線/東京メトロ 銀座・半蔵門線)より徒歩8分  
\* 駐車場はございませんので、近隣の有料駐車場などをご利用ください。

Tokyo Wonder Site Shibuya is 8 minutes away from JR Shibuya Station (JR Yamanote, Saikyo, Shonan-Shinjuku line/ Tokyu Toyoko-Denentoshi line/ Keio Inokashira line/ Tokyo Metro Ginza-Hanzomon line)

\* There is no parking lot. Visitors are encouraged to use public transportation.

